

---

# ユルピノンモリスブ

何畳八畳

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ユルピノンモリルスプ

### 【Nコード】

N9927X

### 【作者名】

何置八畳

### 【あらすじ】

残暑まだ続く新宿雑居ビル。便座に腰掛けたまま死んでいる男と老婆。謎に包まれた事件に釜田警部の直感が炸裂する！  
いったい何なのか、誰もが目を疑う殺人事件に、あなたの推理力が爆発しちゃう！？

## 前夜祭

新宿の雑居ビルで、便座に腰掛けたまま死んでいる男が発見されたのは、八月も終わりを告げる頃、早朝5時のことだった。

この男はビル内の輸入代行業事務所に勤める、48歳の無邪気な馬のような人物だった。

清掃会社の担当者（老婆）が、掃除を始めてから間もなく発見した。新宿西警察署の上山刑事が、ビルの管理者室応接間で、発見した老婆に質問した。

横で横川警部補が腕組みしながら、鼻をほじっている。

「お姉さん、男性トイレの個室を掃除する時に、いつもと違う感じはしなかったですか？何でもいいんですよ。」

お姉さんと言われて、上機嫌になった老婆は言った。

「私がこのビルに着いたのが、午前4時45分でした。同僚のクマ子さんとタバコ吸いながら、掃除の準備していたわな。」

ビルの周りをパトカーの赤色灯で照らされ、黄色い現場用のテープが揺れている。

「クマ子さんが、一番上の階から始めて、私が一階から始めるのが、いつもの流れだなす。」

「それで、一階から始めて間もなく発見したと。あれ？クマ子さんは？」

「なに、8階から始めてるよ。」

横川警部補が、口角泡を飛ばして言った。

「そ、そんな筈は無い。この状況で続けているわけないぞ。」  
その時だった。階段を駆け下りる威勢のいい足音が響いて来た。

「横川さん！は、8階から老婆の死体が見つかりました！」

「なぬっ！老婆の死体だと。服装は！？」

「この方と同じ作業着です。」

「どんな状態なんだ、老婆は。」

「便座に腰掛けたまま死んでいます。」  
それを聞いていた、斉藤ヨネ（老婆）は腰を抜かしてつぶやいた。  
「やっぱり老婆だと思われてたのね。」

マスコミが過熱し始めた。事件は本庁も重要視して、新宿西署会議室には

「新宿雑居ビル便座殺人事件対策本部」と戒名が貼られた。

この殺人事件が、便座殺人事件と意味不明な言われ方をしているのは、死因が特定出来ないからなのだ。

共通点は、ケツを出して便座に腰掛けたまま死んでいた事だった。凶器も見つからない、銃創も身体に無い、一つだけ気になるのは、毒殺に似た反応が見られる点だった。

しかし、口内、咽頭部などからは毒物反応が見られない。無い無いづくしで、科捜研もお手上げ状態だった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9927x/>

---

ユルピノンモリルズ

2011年10月28日17時15分発行